

リーディングスキル

皆さんは、各教科の教科書を読めますか。これは、声に出して正しく音読できるかということではありません。書いてあることの意味が正しくわかるかということです。

皆さんのお家で、何か新しい電化製品（でんかせいひん）を買ったとします。必ず取扱説明書（とりあつかいせつめいしょ）がついています。それを読んでみてください。果たして、正しく意味がつかめるでしょうか。「ああ、読むのが面倒くさい」と思う人もいるでしょう。

社会に出ると、一人の人間として、大人として生きていくようになります。例えば大事な契約書（けいやくしょ）があったとします。これを読んで、その意味がわからないとしたら、どうなるでしょうか。

『A I vs. 教科書が読めない子どもたち』という衝撃的（しょうげきてき）なタイトルの本があります。そこには、こんな問題が出ています。

[例題] 次の文を読みなさい。

仏教は東南アジア、東アジアに、キリスト教はヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニアに、イスラム教は北アフリカ、西アジア、中央アジア、東南アジアにおもに広がっている。

この文脈において、以下の文中の空欄にあてはまる最も適当なものを選択肢のうちから1つ選びなさい。

オセアニアに広がっているのは（ ）である。

① ヒンドゥー教 ② キリスト教 ③ イスラム教 ④ 仏教

簡単でしたか。この問題では、中学生の3人に1人以上が正解できなかったのです。ということは、野田中学校の生徒の皆さんも、3人に1人が答えられない可能性があるということです。

数学で考えてみましょう。計算問題は得意なのに、文章問題になるとできなくなる人はいませんか。もしかしたら、文章の意味がわかっていないのかもしれないかもしれません。テストで考えましょう。テストの問題の意味がわからなければ苦しいでしょう。皆さんの学力に響きます。高校入試にも影響します。

そこで、野田中学校では、皆さんが教科書だけでなく、取扱説明書、契約書、マニュアルなどが読めるように、社会に出て困らないように、各教科の授業を工夫していくことにしました。

皆さんにつけてほしい力に名前をつけると、リーディングスキル（基礎的読解力）となります。リーディングは読むこと、スキルは技能（ぎのう）です。スキル、技能は、訓練（くんれん）を通して獲得（かくとく）できる能力です。

これからは、文章の意味をよく考えること、さっと読んで判断するのではなく、じっくり読むことを意識していきましょう。これは、訓練です。繰り返し繰り返し、コツコツとやっていくしかありません。皆さんが努力する姿を期待しています。